

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)6月23日
所属名：湖北農産普及課
番号：G20010
部門分類：110(水稻)
発信者名：新谷、川村容

乗用型水田除草機の実演会を開催



5月30日(土)、(株)オーレックおよび(有)もりかわ農場のご協力のもと、高月地域にて乗用型水田除草機の実演会を開催しました。

(有)もりかわ農場では、約10haで無農薬・無化学肥料による水稻栽培に取り組まれており、多目的田植機の除草機アタッチメントを用いた機械除草を、雑草の発生状況に応じて1～2回実施されています。

実演ほ場は5月20日に移植され、5月30日に1回目、6月12日に2回目の除草作業が行われました。38.0aのほ場の除草に要した時間は約1時間20分で、試乗した当法人のオペレーターからは、「普段使用している機械と比べて、除草性能が高く、葉齢の進んだ雑草も除草できている」と高評価を得ました。2回目の作業時には農業大学の校外授業で農大生(5名)の参加があり、除草機の仕組みやその効果を学習し、除草剤を使用しない雑草防除について理解を深めました。

当課では、今後もオーガニック米の生産拡大に向けて、除草機の活用をはじめとした有機栽培技術についての支援に取り組めます。



(株)オーレックによる実演



農大生が除草の様子を見学



条間・株間を特殊なレーキとローターで攪拌し、雑草を土に埋めたり、水に浮かせて除草します